

科目名	ハーバード特別講義Ⅳ(保健政策・医療管理学) <sup>(※)</sup>			選択	1 単位		
科目責任者	Alastair Gray 客員教授(※)						
配当年次	1～4年	配当学期	冬期	曜日・時限	4日間	授業方法	講義
<b>1. 授業の概要</b>							
<p>経済学とは、また医療経済学とは何か。本講義ではコストを軸とした健康と豊かさの評価、費用対効果の概念を中心に、公衆衛生の経済学的側面の基礎を身につける。</p>							
<b>2. 授業の到達目標</b>							
<p>【一般目標(GIO)】 1.医療経済学をコスト・効果の対比で理解する。</p> <p>【行動目標(SBO)】 1.保健と医療の文脈における経済学および経済学的手法について説明できる。 2.コストの概念を説明できる。 3.クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を測定し、評価するための技術を説明できる。 4.費用対効果分析の概念を理解できる。</p>							
<b>3. 成績評価の方法および基準</b>							
<p>(1)授業における議論への参加度(50%) (2)最終の口頭試験(50%) (3)レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。</p>							
<b>4. 教科書・テキスト</b>							
<p>・特に指定しない。</p>							
<b>5. 参考書</b>							
<p>・講義で紹介。</p>							
<b>6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間</b>							
<p>・事前に講義用資料が専用HP上に公開される。 ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。</p>							
<b>7. その他履修上の注意事項</b>							
<p>・各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。 ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (※)年度により開講内容が異なる場合があり、Ⅰ～Ⅲのいずれかを開講する。 (※)担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。 (※)また、具体的な授業日時、授業内容については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。</p>							

## &lt;授業計画&gt;

## ハーバード特別講義Ⅳ(保健政策・医療管理学)(※)

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	1/17(月)	1	Alastair Gray 教授(客)	経済、医療、そして医療経済学
2	1/17(月)	2	Alastair Gray 教授(客)	経済学の手法を医療分野に適用する
3	1/18(火)	1	Alastair Gray 教授(客)	コスト
4	1/18(火)	2	Alastair Gray 教授(客)	疾病のコストと負担
5	1/19(水)	1	Alastair Gray 教授(客)	クオリティ・オブ・ライフの測定と評価
6	1/19(水)	2	Alastair Gray 教授(客)	疾病のモデリングと意思決定モデル
7	1/20(木)	1	Alastair Gray 教授(客)	優先順位決定のための費用対効果分析の導入
8	1/20(木)	2	Alastair Gray 教授(客)	還付決定のための費用対効果の導入(英国のNICEを例に)